



『主に向かって心から賛美し、歌いなさい!』(要旨)

エペソ 5:1-2, 18-21 説教者 原田憲夫
 説教前賛美 教会福音讃美歌 363 番(1,2 節)
 説教後賛美 教会福音讃美歌 421 番(1-3 節)
 今週の聖句 エペソ 5:19-20

今日の聖書箇所は、(今年1月と2月に開いた)コロサイ書と類似しています。共通しているのは、19節、20節ですね。そしてそれぞれに特徴的な独自の勧めが次の句です。

*コロサイ3:16 「キリストのことがあなたがたのうちに豊かに住むようにしなさい」

*エペソ5:18 「御霊に満たされなさい」

これらのことを心に留めながら、今日の箇所を耳を傾けましょう。

【1】「神に倣う者となり、愛のうちに歩みなさい」(1,2)

この箇所の勧めは、4章22~25節、27節、30節の結びと言えるでしょう。

つまりエペソ書は、「古い人」を脱ぎ捨て「新しい人」を着た私たち信者が目指すべき目標、希望が「神に倣う者となること」、「愛のうちに歩むこと」に置いているのです。

⇒すなわち、悪魔に隙を与えず、聖霊を悲しませないこと、これが天の父(神)の愛をいっぱいいただいた子どもとして愛のうちに歩み、「神に倣う者」の歩む道なのです。

【2】「御霊に満たされなさい」(5:18-20)

(1) むしろ御霊に満たされなさい (18)

18節の勧めは、前の章から、特に4章30節で語られていることを受け、つながっていきます。すなわち、「・・・あなたがたは、贖いの日のために、聖霊によって証印を押されているのです。」

(4:30) そして「むしろ、御霊に満たされなさい。」(5:18)。

そこから「神に倣う者」の歩み、「新しい人」の「生活様式(ライフスタイル)」が生み出されるのです。

(2) 新しい生活様式(ライフスタイル) (19-20)

御霊に満たされる時、私たちは次の三つに示されるような積極的な行動へ駆り立てられます。

(a) 「詩と賛美と霊の歌をもって互いに語り合うこと」

(b) 「主に向かって心から賛美し、歌うこと」

(c) 「いつでも、すべてのことについて、私たちの主イエス・キリストの名によって、父である神に感謝すること」

(今年最初の礼拝) 詩篇100篇で触れた「パンの笛」が息を吸ってはじめて鳴り出すように、私という楽器も「神の息を吸って」(聖霊に満たされて)はじめて、神への新しい歌を奏でます。

⇒すなわち、助け主である聖霊に私=自我をしっかりと明け渡しているかが問われているのです。

【3】「キリストを恐れて、互いに従い合いなさい」(21)

この21節の勧めは、すべてのキリスト信者に向けられているものです。

⇒すなわち、「キリストを恐れて、互いに従い合うこと」こそ、神の家族である私たちすべての信者の交わりの基本に据えているかが問われているのです。(当然、新しく家庭を築く方々にとっても忘れてはならない勧めです。)

【勧め】

主イエス・キリストを信じ、聖霊を内に宿した人は、神の愛に包まれてキリストの輝きを映し出します。

「土のちり」にすぎない私たち—あなたが、十字架の中に現れた神の愛に包まれながら真珠のように「新しいいのち」を輝かせるのです。

心に刻みましょう!

「神に倣う者となりなさい。また、愛のうちに歩みなさい。・・・」

「詩と賛美と霊の歌をもって互いに語り合い、主に向かって心から賛美し、歌いなさい。」

「いつでも、すべてのことについて、私たちの主イエス・キリストの名によって、父である神に感謝しなさい。」

「キリストを恐れて、互いに従い合いなさい。」

新しい人よ、主に向かって心から賛美し、歌いなさい!

(祈り)

(賛美)

